

岩室ネットワーク

■この広報紙にあなたが写って
いましたら、総務課企画係 ☎82
-4111内線 215)へご連絡くださ
い。写真をさしあげます。

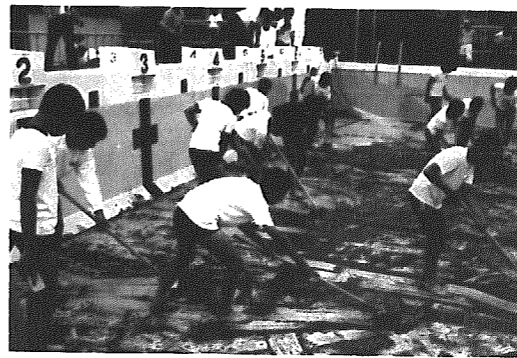
いい顔、ありがとう

間瀬小学校海岸クリーン作戦から(6月24日)



力を入れてみかけ
夏が待ち遠しい!?
岩小でプール清掃

「早く夏が来ないかなあ」と先月9日、岩室小学校では16日のプール開きを前に、5～6年生が学校脇のプール清掃を行いました。長い間、使っていなかったプールは落ち葉やドロでヌルヌル。でもタワシやほうきでプールの底や壁をみがきました。「もっと力を入れる」「こっちもみがけ」と声をかけあってゴシゴシ。約1時間の作業でプールもすっかりきれいになり、早速、消毒剤なんかをまいてプール開きに備えました。



まさか!! に備え消防演習



けたたましく鳴る消防車のサイレン——どきどきとしますね。火事はいっ起るかわかりません。そして、一瞬のうちに家を焼きつくし、ときには人の命を奪うこともあります。そこで先月十九日、この恐ろしい火事から、わたしたちの生活を守るため、岩室村消防定期総合演習が和納小学校グラウンドで行われました。各地区から消防団員約二百人が集合し、部隊訓練やポンプ操作などを披露。仮装演習では西川堤防で一斉放水をして「まさか!!」に備えました。

黒板を使って分かりやすく解説

生涯学習事業の実践活動として先月十二日、「スポーツと健康」と題する講演会が公民館の講堂で開かれました。講師は新潟大学教授の杉本英夫さん。

①生涯スポーツの意義②年齢に合ったスポーツ③スポーツ障害④スポーツと健康の四つのテーマについて、黒板を使いながら分かりやすく解説する杉本先生に、集まった約二百人の参加者は、しきりにメモをとったり、うなずいたり、真剣に聞き入っていました。



名作がずらり

村内の書道・絵画・写真愛好家の作品を集めて、先月十一日と十二日の二日間、岩室村公民館で「美術展」が開かれました。出品された作品は、書道六十五点、洋画二十七点、日本画八点、そして写真が十二点。どの作品も、まちの芸術家! のものとおあってすばらしいものばかり。会場を訪れた人たちも気に入った作品の前に足を止めながら見入っていました。



交流と自己記録への挑戦

フィールドやトラック競技にはちょうどいい天候に恵まれた先月八日、村内三小学校の四～六年生四百十六人が一堂に集まり、スポーツを通じた友情の輪を広げるため、第二十一回岩室村小学校親善陸上大会が岩室小学校グラウンドで開かれました。児童たちは百メートル走り高跳びなど全部で七種目に挑戦。自己記録の更新をめざしてがんばった成果!? か、四つの新記録が誕生しました。また今年から記録証なるものが全員に配られ、大好評の親善大会でした。

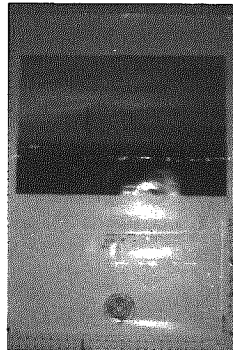


いぬひと No. 9

みやじま 宮島賢一さん(原)

今月の「このひと」は、この四月に行われたJR東日本車窓写真コンテストで優秀賞を受賞された原の宮島賢一さん(56歳)をご紹介します。

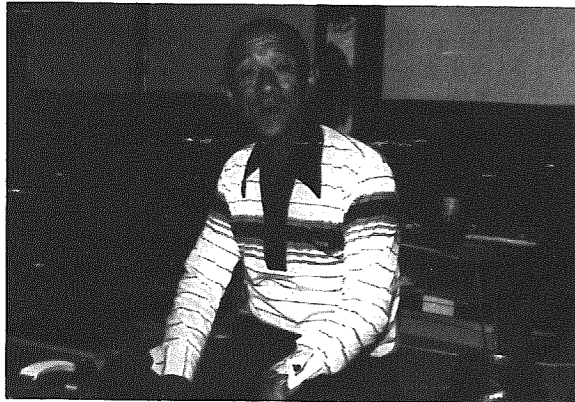
「写真を撮る始めて、まだ二年くらいなのでホント、びっくりしましたね。たまたま新潟に出かけたとき(三月)、電車内の広告でコンテストがあるのを知り、興味本位から応募してみようかなと思ったんです。それで、朝一番の越後線の電車に乗って、ちょうど北吉田駅と岩室駅の間あたりの風景を撮ったのが、思いもよらない入選で驚いているんですよ」と照れくさそうに話す宮島さん。ところでこの写真コンテストはJR東日本が主催したもので、管内のローカル線の車窓から撮った写真コンクールで、宮島さんは霧を主点に朝やけの田園風景を撮影、とても幻想的な写真に仕上がったといいます。「でも入選したのは、本当



霧、この優秀賞をうけた、この霧、と題する作品はポスターに

と気に入ったものがある道ばたであろうが、街の中であろうが撮っているんです。それだけ好きなんです。写真は一瞬のその時をどめる貴重なものです。わたしは風景写真が

好きなので、気に入ったものがあると四ツ切の半紙大の大きさに引き伸ばして、もう一つの趣味!?である俳句なんかをよんで一緒に付けておくんです。いわば写真付きの日記みたいなものですかね。



「これからも好きな写真は撮り続けたいね」と話す宮島さん

行で泊った旅館なんかによんで差し上げると、これが大変喜ばれて、以来病み付きになった感じですよ。いまでも以前泊った所から毎年、年賀状なんかも届いていますし、そんな交流がまた楽しみの一つなのかもしれないね」と頭をかきながら話す宮島さんに非凡な才能が感じられます。

こんなふうには写真を撮り、その思いを俳句に代えておくのがいまでも楽しいんですよ」とニコニコ語る宮島さん。このように宮島さんは写真の腕もさることながら川柳や俳句も玄人はだしの人です。「自慢ばなしになっちゃうかもしれませんが、いままでテレビや

から十二日に公民館で開かれた美術展でも参考出品されました。ご覧になったかたも多いと思います。これからも好きな写真を撮り続けたいと思います。できれば弥彦山の四季なんか撮ってみたいですね」と宮島さん。今度完成したらまたご紹介させていただきますね。